

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 8 月 4 日 (2005.8.4)

【公表番号】特表 2004-527569 (P2004-527569A)
 【公表日】平成 16 年 9 月 9 日 (2004.9.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-035
 【出願番号】特願 2002-586967 (P2002-586967)
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 31/472
 A 6 1 K 9/16
 A 6 1 K 9/20
 A 6 1 K 9/48
 A 6 1 K 47/34
 A 6 1 P 31/12
 A 6 1 P 31/18
 A 6 1 P 43/00

【F I】

A 6 1 K 31/472
 A 6 1 K 9/16
 A 6 1 K 9/20
 A 6 1 K 9/48
 A 6 1 K 47/34
 A 6 1 P 31/12
 A 6 1 P 31/18
 A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】
 【提出日】平成 15 年 12 月 12 日 (2003.12.12)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

非晶質メシル酸ネルフィナビル、およびエチレンオキシドとプロピレンオキシドとの薬学的に許容され得る水溶性非イオン性合成ブロック共重合体を含む、非晶質メシル酸ネルフィナビルの固形単位経口製薬剤形であって、該共重合体が少なくとも 40 の融点を有する剤形。

【請求項 2】

前記共重合体が、メシル酸ネルフィナビルの 40 重量%～65 重量%存在する、請求項 1 記載の剤形。

【請求項 3】

前記共重合体が、40～60 の融点を有する、請求項 1 または 2 記載の剤形。

【請求項 4】

前記共重合体が、少なくとも 14 の 25 での HLB 値を有する、請求項 1～3 のいずれか一項記載の剤形。

【請求項 5】

前記共重合体が、14～29 の 25 での HLB 値を有する、請求項 4 記載の剤形。

【請求項 6】

前記共重合体が、少なくとも 70 重量 % のエチレンオキシド含量を有する、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項記載の剤形。

【請求項 7】

ネルフィナビル塩基として計算すると 400 mg ~ 700 mg のメシル酸ネルフィナビル含量を有する、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項記載の剤形。

【請求項 8】

安定剤、湿潤剤、結合剤、崩壊剤、希釈剤、可溶化剤および滑沢剤からなる群より選択される薬学的に許容され得る添加剤を更に含む、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項記載の剤形。

【請求項 9】

錠剤、カプセル剤またはカプレット剤である、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項記載の剤形。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 9 のいずれか一項記載の固形単位経口製薬剤形を製造する方法であって、
(a) 非晶質メシル酸ネルフィナビル、およびエチレンオキシドとプロピレンオキシドとの薬学的に許容され得る水溶性非イオン性合成ブロック共重合体を含むブレンドであって、該共重合体が少なくとも 40 の融点を有するブレンドを、その共重合体の融点温度からメシル酸ネルフィナビルの分解温度未満までの温度で加熱する工程、
(b) そのブレンドを混合して溶融顆粒を形成させる工程、および
(c) その溶融顆粒を非晶質メシル酸ネルフィナビルの前記剤形に加工する工程を含む方法。

【請求項 11】

治療に使用される、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項記載の固形単位経口製薬剤形。

【請求項 12】

HIV 介在疾患の処置に使用される、請求項 11 記載の固形単位経口製薬剤形。